

アメリカ批判は中国への譲歩ではない

盧倩儀（台湾中央研究院研究員）

「風伝媒」

台湾の反戦平和勢力にたいする台湾政権や右派勢力からの攻撃が続くなか、2023 年に発表された学者グループの「反戦宣言」をまとめた盧倩儀氏が、台湾の電子メディア「風伝媒」に寄稿して反反戦論者に熱のこもった反撃をおこなっている。以下は主な部分の抜粋です。（翻訳 鈴木啓史）

7 月 4 日に台湾婦女新知基金会の劉文教授が「一部の女性主義者と左派団体がアメリカを最大の批判対象としていること、それが中国への譲歩となっていること、さらには台湾問題で中国のナラティブを受け入れていること」を批判する文章を出した。

今日の世界を見れば、全世界各地のますます多くの人が「アメリカを最大の批判対象として」いる。

アメリカはイランの人権と女性の権利を解放すると言ってイランを攻撃しトマホークで小学校を攻撃し 160 人の女児を死なせた。ガザでも同様だ。

アメリカの家父長制、ダブルスタンダード、フェイク、血生臭さ、暴力を目にして、女性団体は「アメリカを最大の批判対象として」いる全世界の運動に参加しないままではいけない。エプスタイン問題で女性の基本的人権が蹂躪されても何も言わずに、逆に反戦を非難するとは。

劉文教授は、台湾人が「アメリカを最大の批判対象として」いる現象をいきなり「中国への譲歩」「中国のナラティブ受け入れ」にねじ曲げたが、2026 年の Democracy Perception Index では、全世界 84 カ国中 65 カ国がアメリカを一番の脅威と見ている。

ウクライナを見てますます多くの台湾人が台湾海峡もアメリカ帝国主義の拡張戦争の枠組みに埋め込まれていると意識している。ウクライナではアメリカが介入するまでロシア語話者との関係に何ら問題なかった。アメリカが介入してウクライナの極右と協力してからロシア語話者は差別され抑圧され暴力を受け内戦になりロシアウクライナ戦争を引き起こした。

アメリカはウクライナに資金を投入して市民団体(女性団体)に嫌口的ナラティブを扇動するように仕向け、親口派大統領を親米派大統領に据え変えた。

ヨーロッパの地図を開けばアメリカ主導の NATO が冷戦終結時の合意を破ってロシアの近くまで迫っている。どちらが本当に恐ろしい存在か。

アジアの地図を開けばアメリカからずっと離れた中国の玄関先まで米軍基地が来ている。どちらが戦争製造者だろうか。

台湾は、アメリカのナラティブに惑わされ続ければ軍事産業を太らすだけで、アメリカは一挙両得、台湾の行く末はウクライナと同じだ。どちらが勝ちどちらが負けても戦場となっては完敗だ。女性と子どもは戦争で一番悲惨な状況に置かれる。台湾の女性団体が戦争の裏側の原因をこれほどにも避けて語らず、反戦に対してこれほどにも警戒し、戦争常習犯アメリカのナラティブにこれほどにも従ってしまうとは、驚きであり同時に何ら驚かない。台湾をアメリカのナラティブが覆い尽くしたのは1日2日のことではない。アメリカの台湾(女性新知基金会含む)における深層への影響はもはや拭い去りたくとも拭いされない。

劉文教授は「台湾の女性団体は平和を語るなら同時に侵略反対、権威主義反対、民主主義を守れとも言う必要がある」と言うが、彼女が最初に「反対」すべきはアメリカであって中国ではない。「対外侵略」は中国には当てはまらない。「権威主義」は中国に貼るレッテルになっているが、「民主主義」かどうかは前述の Democracy Perception Index では中国は 98 カ国中 9 位、アメリカは 37 位だ。政治学的にはアメリカは人民主権の民主政治(democracy)では

なく、「富豪統治」(plutocracy)又は「寡頭政治」(oligarchy)だ。アメリカの略奪型社会は富を反民主主義的に集中させソーシャルセキュリティネットを壊して、国民の血税を対外侵略に使って燃やしてしまう。Democracy Perception Index では 63 カ国で中国が好きがアメリカが好きを上回った。(全世界でイスラエルとウクライナ、日本、韓国、台湾だけが例外的にアメリカが好き)

台湾で今最も必要なのは、全世界の戦争の上流にあるその根源に NO と言うことであって、下流にて女性主義の包装紙に包んでアメリカのナラティブを語り続け国民皆兵を推し進めることではない。

盧倩儀觀點：婦女團體對美國殺戮機器沒
話要講，對反戰猛力撻伐？ | 盧倩儀 | 評論
storm.mg

【資料】

令和 8 年 2 月 1 日開催 沖縄県主催「万国津梁フォーラム～東アジアの平和を
どう実現するか～」

<https://www.youtube.com/watch?v=5159IVanFTI>

ルー・チンイ先生（盧倩儀 Lu Chien-yi）の発言

1：42：35 頃～

2：09 頃 2 回目の発言

2：45 頃 最後の発言